

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 — 分析から見てきた成果・課題と今後の取組について —

区 名	生野
学 校 名	大阪市立小路小学校
学校長名	湊 健次

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小路小学校では、第6学年33名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

・大阪市の平均正答率に比べ、国語科においては－3ポイント(昨年比－3ポイント)、算数科においては－5ポイント(昨年比－8ポイント)の結果となった。昨年と比べて国語は同率、算数科は3ポイント上昇した。特に国語科については、大阪市平均に迫ってきている。算数科については、上昇したがまだ差が大きい。

・児童質問紙の結果から、「自分にはよいところがあると思うか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」「学校に行くのは楽しいか」に対して肯定的な回答をしている児童の割合は、大阪市と比べて高くなっている。しかし、「分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」に対しての肯定的な回答は大阪市平均を大きく下回っており、児童が自ら学び、学習を進めるような工夫が必要である。また、「読書にかける時間」「読書が好きですか」という回答が大きく大阪市平均を下回っており、読書に関する対策が必要である。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平均無回答率においては、大阪市と比較して2ポイント高かった。これまで本校の無回答率は大阪市と比較して少しずつ低くなってきており、粘り強く最後まであきらめずに取り組む児童が増えたことは大きな成果である。学習指導要領の内容別に見ると、「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「言語文化」については、大阪市より高かったのは成果である。しかし、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」については、市平均を下回った。今後も、学力向上支援チーム事業の授業支援やブロック予算でのデジタル新聞などの活用を継続する。

〔算数〕平均無回答率においては、大阪市と比較して2.8ポイント高かった。これまで本校の無回答率は大阪市と比較して少しずつ低くなってきており、最後まであきらめずに取り組む児童が増えたことは大きな成果である。学習指導要領の内容別に見ると、全領域で大阪市の平均よりも下回っている。特に、C測定は－7.9ポイント、C変化と関係は－9.7ポイント下回った。昨年と比べて若干下降しており、基礎基本の定着を身につけるための放課後学習やモジュール学習を今後も継続する。

〔理科〕平均回答率においては、大阪市と比較して2ポイント低かった。学習指導要領の内容別に見ると、B「生命」を柱とする領域については、大阪市より5.4ポイント高かったのは成果である。しかし、A「エネルギー」と「粒子」を柱とする領域では、ともに4ポイント市平均を下回った。今後も、観察や実験を通して、学びの定着を図っていく。

質問調査より

・児童質問紙の結果から、「自分にはよいところがあると思うか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」「学校に行くのは楽しいか」に対して肯定的な回答をしている児童の割合は、大阪市と比べて高くなっている。これまでの取組により、児童の自己肯定感と人権意識感覚が高まっていることが考えられる。また、「分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することはできていますか」「学校の授業時間以外に家で普段一日あたりどのくらい読書をしていますか」「読書が好きですか」については課題が多い。ICT機器をつかったの調べ学習や教科書関連図書の学級文庫への充実を図り、上記課題の解決に向け、取り組む。また、「国語、算数、理科の勉強は好きですか」という質問に対する結果から、算数と理科が大阪市平均より低く、特に算数は肯定的な回答が50%を下回っており、授業や学力向上支援チーム事業の取組内容改善を図っていく。

今後の取組(アクションプラン)

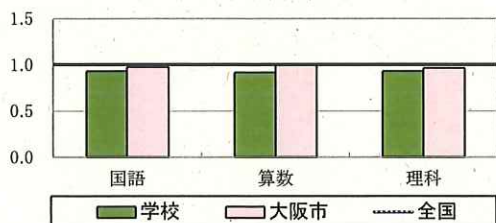
①授業研究会を年間に位置付けて計画的に行い、指導者を招聘し、教材研究や指導案作りから関わって指導をいただき、「主体的で対話的で深い学び」を実現する授業改善を進める②ICTを使い、授業の予習や復習を行う③総合的読解力の育成に取り組み、児童のインプット・アウトプットの習熟に努める④放課後学習などを通して算数科・国語科の文章題への取り組みを進め、児童の苦手意識を少しでも低くする。⑤言葉の力や読解力をつけるための取組・朝学やモジュールタイムに音読や視写、言葉のプリントなどの学習を取り入れる。(ブロック予算の活用)⑥スキルアップテスト(本校独自の作成プリント)の取組を強化し、躓きのある児童への放課後学習に取り組む。

【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	62	53	53
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

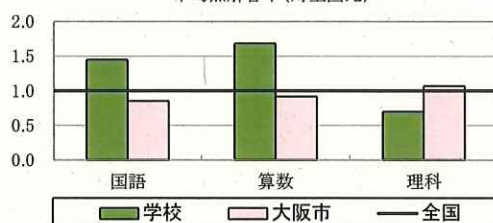
平均正答率(対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.8	6.1	2.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

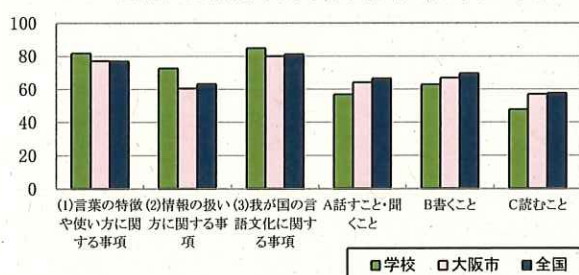
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	81.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	72.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	84.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	56.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	62.6	66.7	69.5
C 読むこと	4	47.7	56.9	57.5

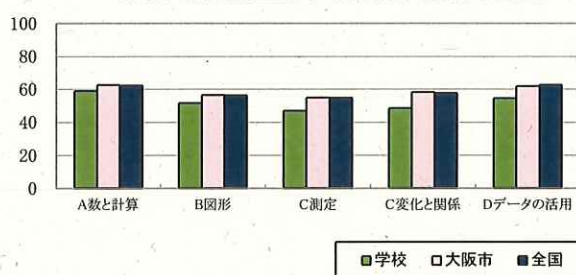
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



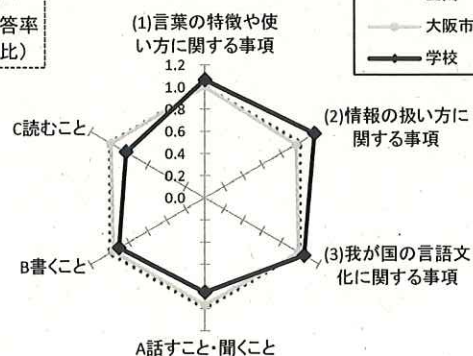
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.1	62.7	62.3
B 図形	4	51.5	56.4	56.2
C 測定	2	47.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	48.5	58.2	57.5
D データの活用	5	54.5	61.9	62.6

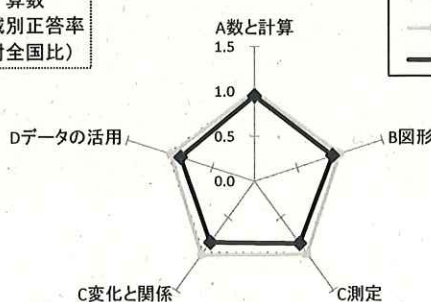
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

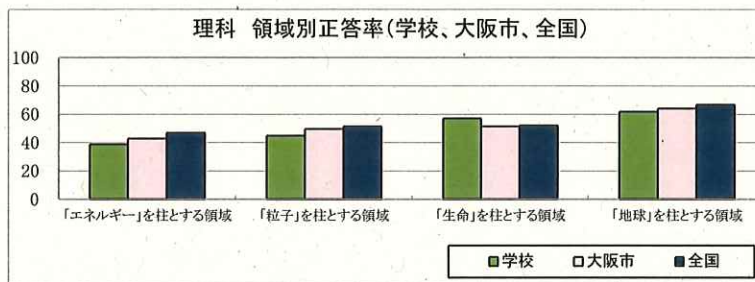


算数 領域別正答率 (対全国比)

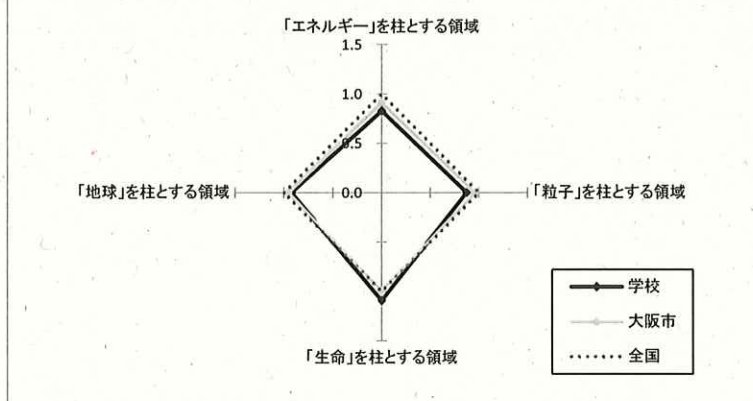


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	38.6	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	44.9	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	56.8	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	61.6	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



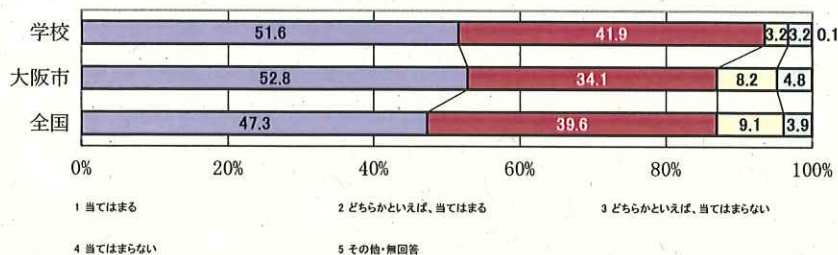
児童質問より

質問番号

質問事項

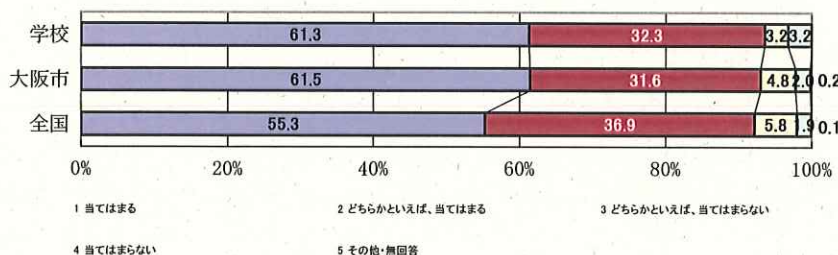
5

自分には、よいところがあると思いますか



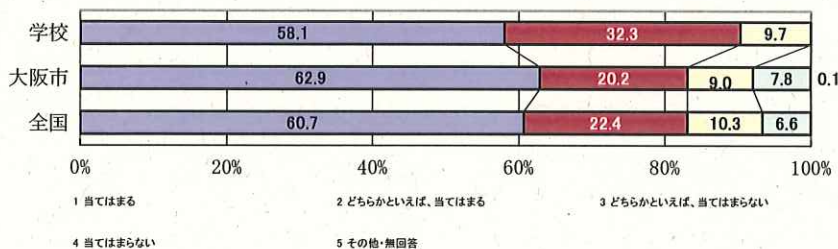
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



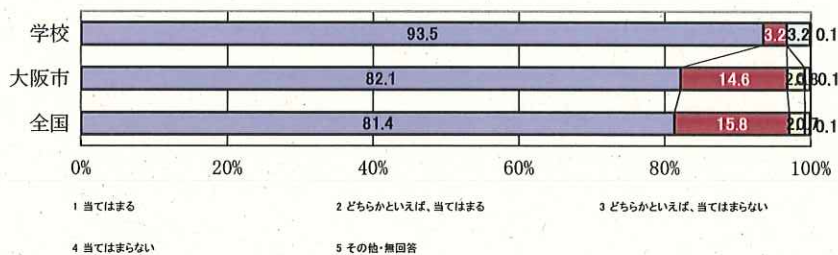
7

将来の夢や目標を持っていますか



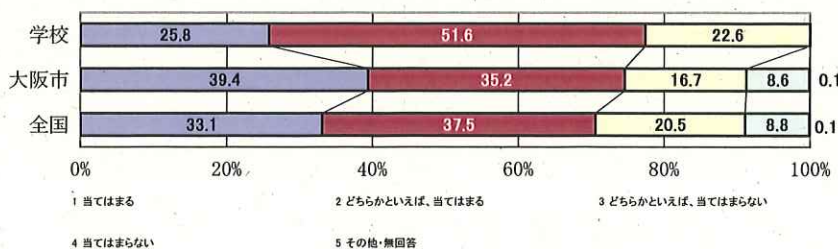
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



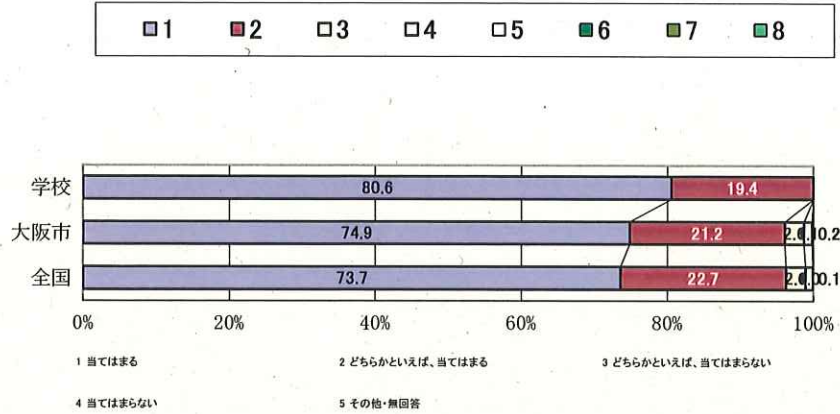
児童質問より

質問番号

質問事項

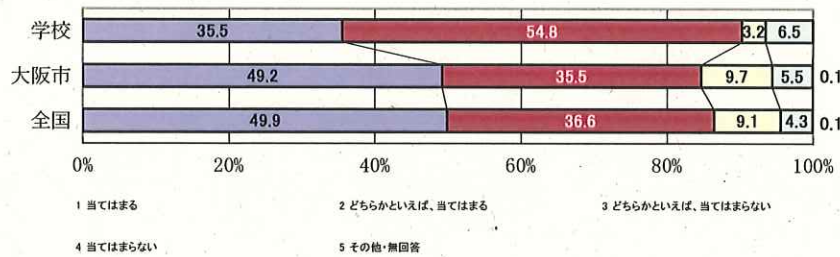
11

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



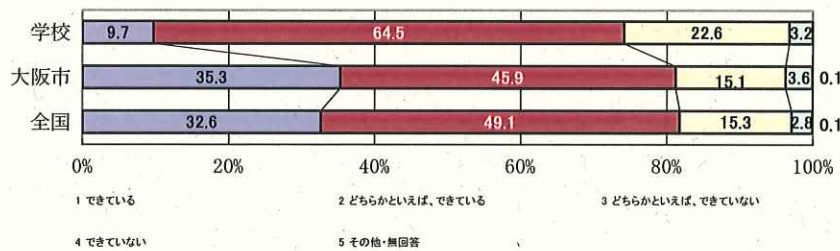
12

学校に行くのは楽しいと思
いますか



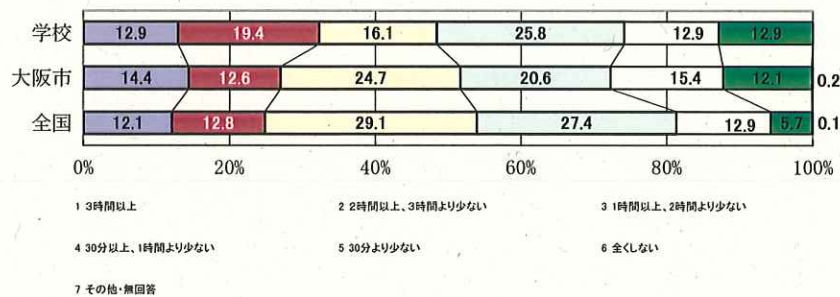
16

分からないことやわしく知り
たいことがあったときに、自分
で学び方を考え、工夫すること
はできていますか



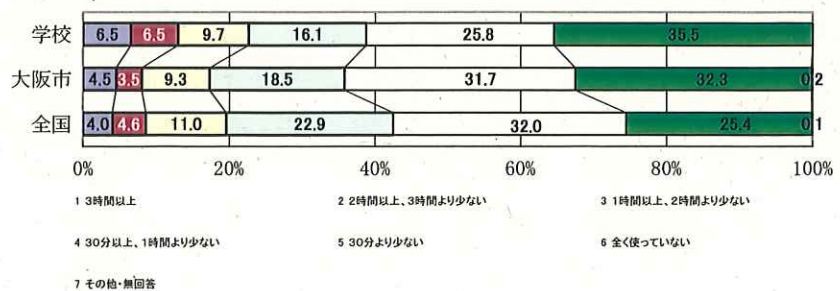
17

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、勉強を
しますか(学習塾で勉強してい
る時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インター
ネットを活用して学ぶ時間も含
む)



18

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、PC・タ
ブレットなどのICT機器を、勉
強のために使っていますか
(遊びなどの目的に使う時間
は除く)



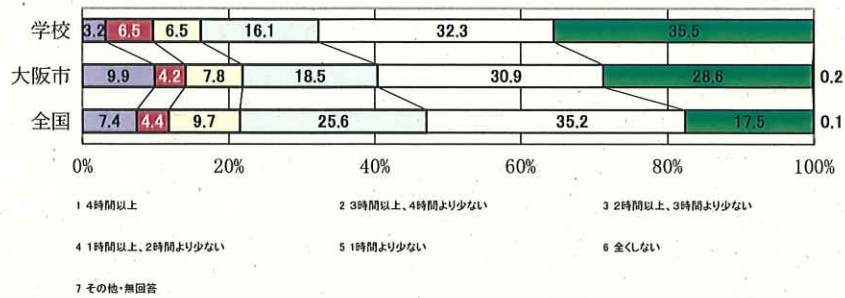
児童質問より

質問番号

質問事項

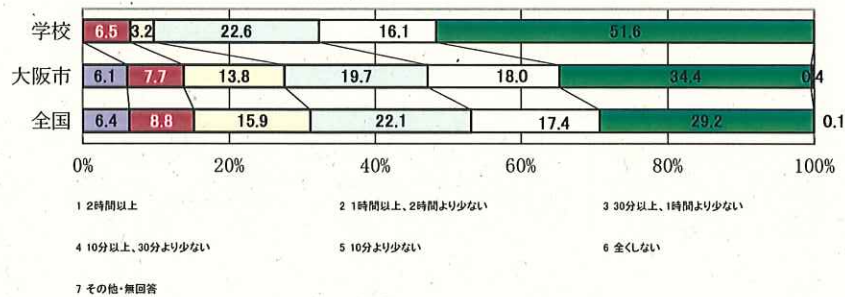
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



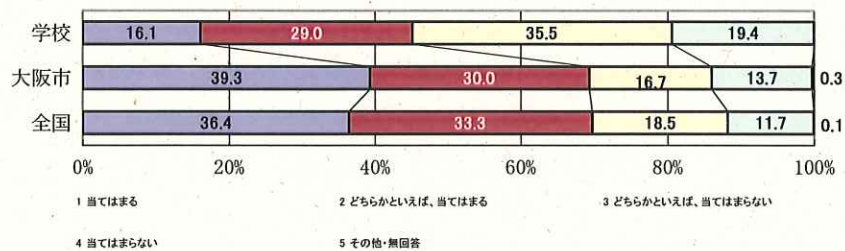
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



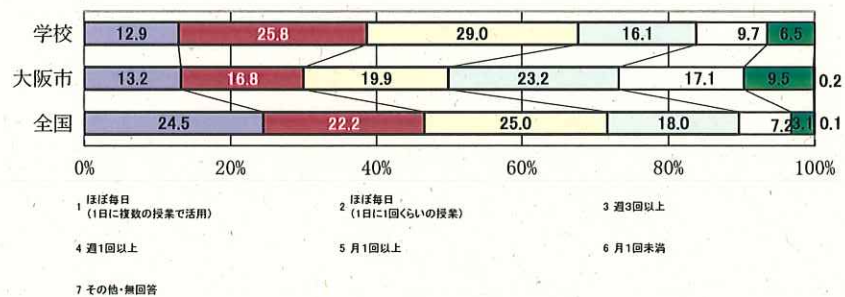
24

読書は好きですか



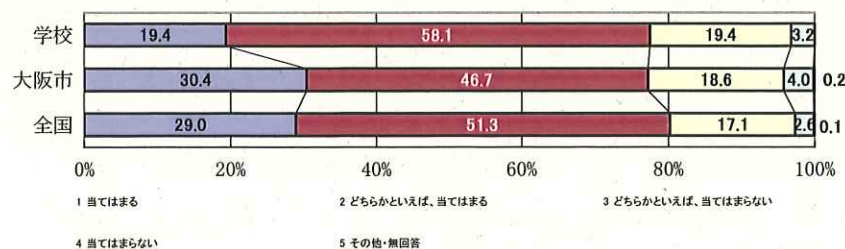
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



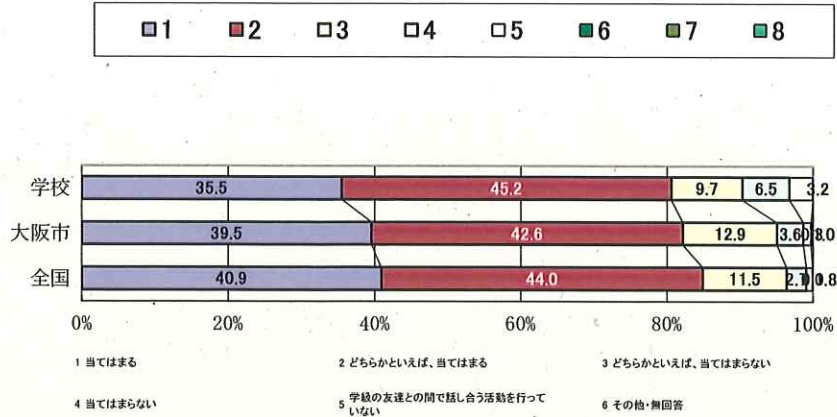
児童質問より

質問番号

質問事項

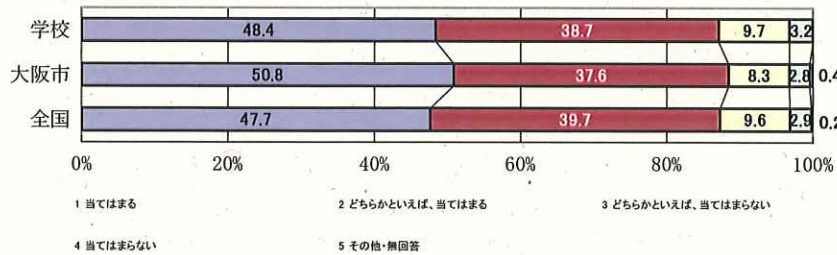
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



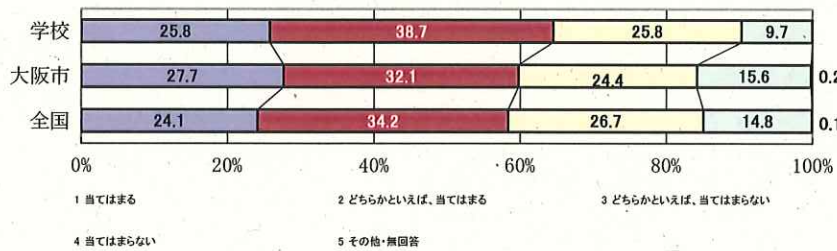
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



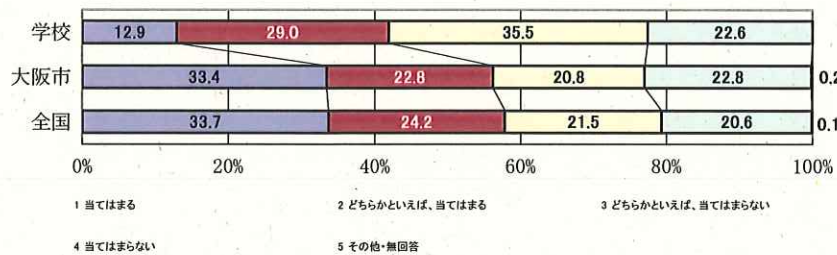
45

国語の勉強は好きですか



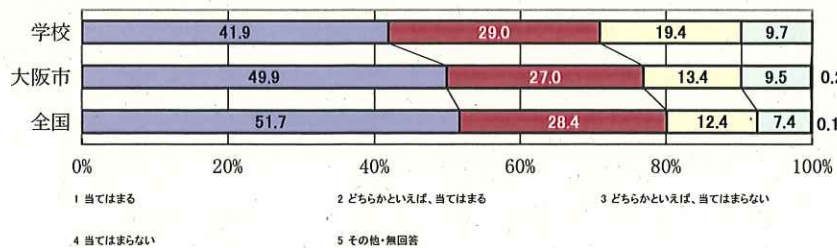
53

算数の勉強は好きですか



61

理科の勉強は好きですか



学校質問より

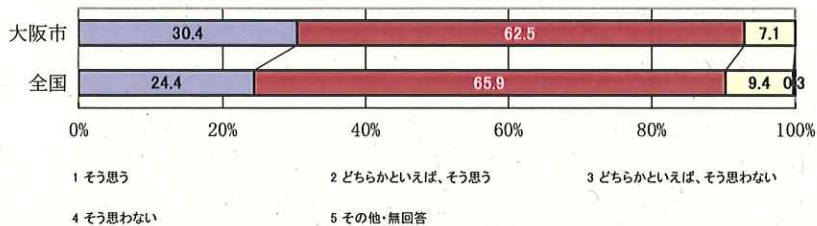
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

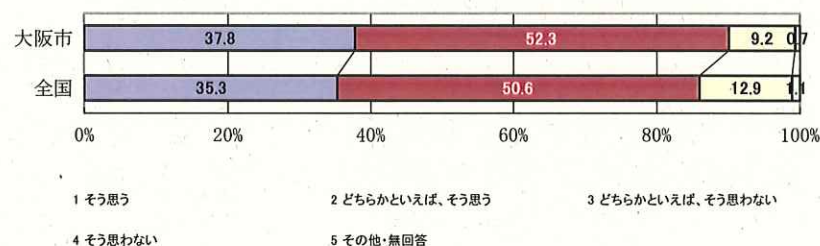
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

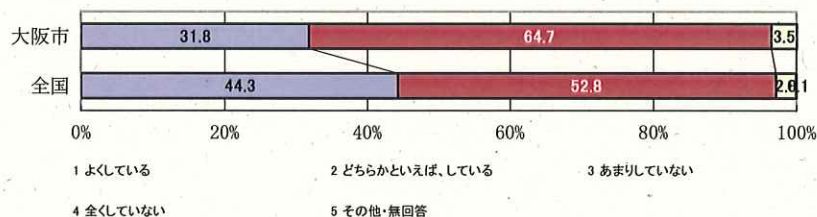
学校 「そう思う」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

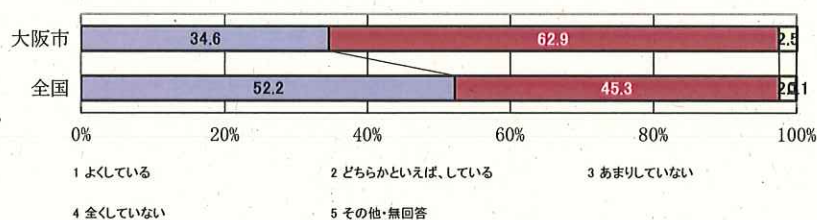
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

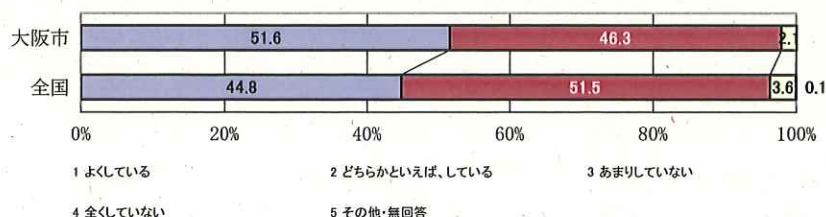
学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

言語活動について、国語科を要として、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



学校質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

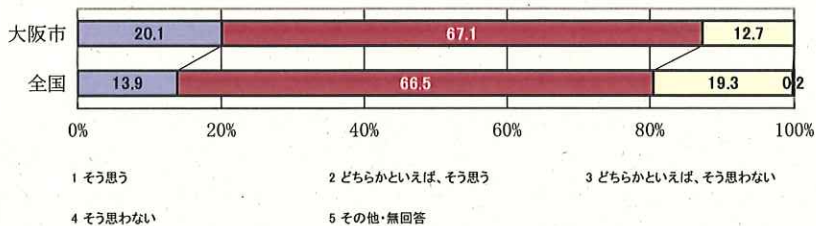
質問番号

質問事項

26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

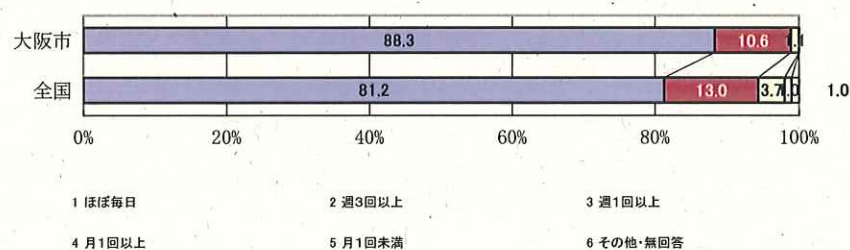
学校「どちらかといえば、そう思わない」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

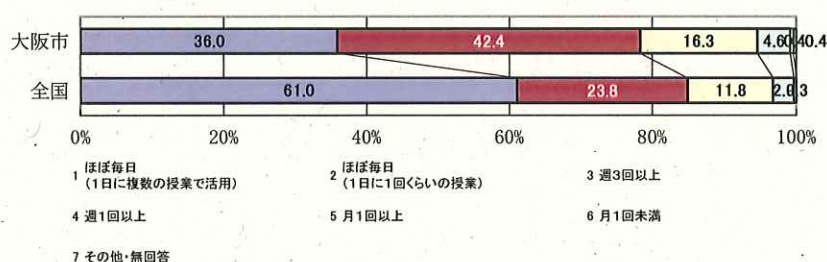
学校「ほぼ毎日」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

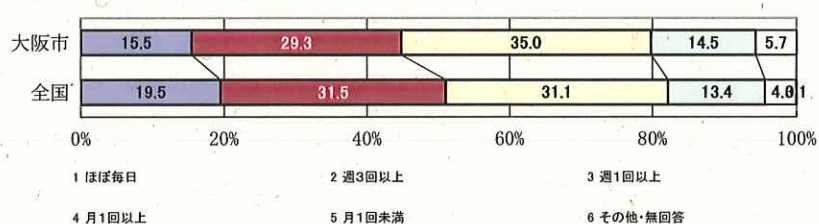
学校「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択



63

調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校「ほぼ毎日」を選択



83

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校「よく行った」を選択

